令和５年度 施政方針

私が市長に就任させていただきまして、まもなく4年を迎えようとしています。その間、幾度となく感染拡大という難局に直面しましたが、市民の皆さまのワクチン接種や感染対策の徹底により、昨年からは徐々にイベントなども再開されるようになりました。心より感謝を申し上げますとともに、感染拡大を防ぐために日々ご尽力いただいている医療従事者をはじめとする関係者の皆さまに改めて深く敬意を表します。

3月に策定いたしました第8次刈谷市総合計画では、「人が輝く　安心快適な産業文化都市」を目指すべき将来都市像とし、その実現に向けての方向性を4つの基本方針で表しています。この計画を未来へのナビゲーションとしながら不透明な時代を切りひらき、輝かしい未来へと変えていきたいと考えております。

現在から未来に目を向けたときに、まずは、人口減少の局面を打開しなければなりません。計画の重点戦略となっている「若い世代や子育て世代への支援」を踏まえ、従来から行っております保育体制の充実や子育てに関する相談体制の充実を図りながら、切れ目のない子育て支援を行っていくとともに、子どもを主体とした新たな施策もスタートさせ、親世代と子世代の双方の支援を市全体で進めてまいります。

国内情勢を見てみますと、ウィズコロナの下、社会経済活動が戻りつつある中、原材料価格の上昇や円安の影響などによるエネルギー、食料品などの価格上昇が国民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしています。本市におきましても水道の基本料金免除や支援金の給付などの緊急対策を講じてまいりましたが、引き続き市民の皆さまが安心して生活できるように、適時適切な支援を行ってまいりたいと考えております。

今年はNHK大河ドラマで、本市ゆかりの徳川家康公が主人公となっています。家康公と言えば優秀な家臣団に支えられ、200年の泰平の世の礎を築いた人物ということで、今回のドラマでは、さまざまな困難を知恵と工夫と大いなる決断で乗り切った姿が描かれることと思われます。刈谷市が安心安全なまちであり、市民の皆さまが“元気”に住み続けられ、“笑顔”に満ちあふれ、“未来”へ希望が持てるよう、私たち行政も常に「どうする」と最善を模索しながら、知恵と工夫をもって、時代の難局に立ち向かってまいりたいと考えております。

刈谷市長　稲垣　武

まちづくりの基本方針

都市基盤
安心して暮らし続けられる快適なまちづくり

教育文化
生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり

産業環境
人と技術でにぎわいを創り未来につながるまちづくり

福祉安心
支え合い誰もが安心して暮らせるまちづくり

令和５年度予算の概要

●歳入

一般会計の歳入については、歳入の根幹をなす市税が367億484万円で、前年度当初予算と比較して、3.0%の増を見込んでいます。

●歳出

構成比で最も大きな割合を占めているのは、子育て支援、高齢者福祉、障害者福祉を中心とした民生費で、40.3%の255億4640万3千円です。次いで、教育費で、16.2%の102億5778万円、次に、土木費が、14.9%の94億5018万7千円となっています。なお、歳出に占める投資的経費*の割合は、14.9%です。

当初予算		
	一般会計	633億6000万円
	特別会計	245億354万円
	企業会計	107億2997万1千円
	合　計	985億9351万1千円

＊道路、公園、学校など社会資本の整備に関する経費で普通建設事業費、災害復旧事業費など

主要施策

（1）都市基盤～安心して暮らし続けられる快適なまちづくり～

事業名	事業の内容	予算額（千円）
市道01-4号線他道路新設改良事業（今川町）	円滑な交通と歩行者の安全を確保するため、今川町交差点の形状を適正化するとともに、国道1号線に接続する市道01-4号線の右折2車線化を行う。	176,143
市道01-40号線他道路新設改良事業（逢妻町ほか）	慢性的な交通渋滞を緩和し、市街地に流入する通過交通を抑制するため、バイパス機能を持った幹線道路を整備する。	558,160
市道02-5号線他道路新設改良事業（一里山町）	県道宮上知立線により分断された地区の安全性および利便性を確保するため、県道の周辺道路を整備する。	221,174
市道02-14号線他道路新設改良事業（泉田町）	市民の利便性を向上させるため、一般廃棄物処理場へのアクセス道路および泉田地区の幹線道路としての道路を整備する。	100,406
市道2-485号線他道路新設改良事業（銀座ほか）	歩行者の安全確保および利便性の向上を図るため、道路拡幅による歩道整備と電線類の地中化を行う。	96,400
都市拠点活用推進事業	刈谷駅周辺の活気や魅力を高め、市の玄関口としてふさわしい駅前空間の創出を目指し、刈谷駅周辺のイルミネーションおよび刈谷駅前線の活用促進を行う。	28,420
公共交通再編事業	公共交通のさらなる利便性向上を図るため、地域公共交通計画を策定するとともに、公共施設連絡バス「かりまる」の路線改正、運営手法の検討を行う。また、予約に応じて目的地まで乗り合いで送迎するデマンド交通の導入検討を行う。	30,440
公共交通利用促進事業	市民の外出機会の創出および公共施設連絡バス「かりまる」の利用促進を図るため、イベントや啓発を行う。	1,421
JR刈谷駅総合改善事業	JR刈谷駅の安全性確保および利便性向上を図るため、ホーム拡張、ホームドア設置、コンコース拡張および改札増設などの改良工事を行う。	212,430
公園再整備事業	市民の健康増進の場を創出するため、日高公園の再整備に合わせてウォーキングコースや健康遊具を設置する。また、公園の魅力向上を図るため、猿渡公園についてPark－PFIを活用した再整備を行う。	248,023
岩ケ池公園整備事業	利用者の安全確保、利便性の向上および主要地方道名古屋岡崎線の交通の円滑化を図るため、当該道路東側の駐車場を再編する。	237,429
魅力あふれる公園づくり事業	誰もが行きたくなるような魅力あふれる公園づくりを目指し、将来構想を策定した洲原公園、岩ケ池公園、総合運動公園、亀城公園およびフローラルガーデンよさみの5公園を対象に、構想の実現に向けた市場調査や課題の整理などを行う。	39,250
（仮称）たまち公園等整備事業	公園機能の増進を図るため、しげはら園の移転および刈谷豊田総合病院の拡充に併せ、住吉公園を移転し（仮称）たまち公園を整備するとともに、神田公園を再整備する。令和5年度は、位置の検討および実施設計などを行う。	50,700
優良建築物等整備事業	魅力的な都市空間の創出を目指し、低未利用地の活用やまちなか居住の誘導などを図るため、桜町および広小路にて商業施設や住宅などの複合施設を整備する民間事業者に対して支援を行う。	182,400
雨水貯留浸透事業	浸水被害の軽減を図るため、水田の排水桝に流出調整板を設置し、雨水を水田内に貯留する。	1,132
準用河川草野川改修事業	浸水被害の軽減を図るとともに、魚類、昆虫類など自然との触れ合いを可能とする環境を整備するため、河川の改修を行う。	61,000

（2）教育文化～生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり～

事業名	事業の内容	予算額（千円）
水野家ゆかりのまち交流宣言10周年記念事業	水野家ゆかりのまち交流宣言10周年および大河ドラマ「どうする家康」の放送を機に、水野家ゆかりの地として刈谷の歴史に興味を持ってもらえるよう、講演会やイベントなどを開催する。	14,000
歴史博物館企画展開催事業	歴史や文化に触れる機会を提供するため、刈谷やその周辺の地域の歴史を紹介するほか、さまざまな歴史資料を展示する企画展を開催する。	31,401
美術館企画展開催事業	質の高い美術品や展示物に触れる機会を提供するため、著名な美術家やイラストレーターの展覧会などを開催する。	33,937

ID　7桁の番号を市HPトップページ「ページID検索」に入力すると関連ページが見られます。